

製品安全データシート

整理番号：F00011
作成日：1993年1月26日
改訂日：2010年8月19日

1/7

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : ポリエステル樹脂硬化剤
会社名 : 日本特殊塗料株式会社
住所 : 東京都北区王子5-16-7
担当部門 : 塗料技術部
電話番号 : 03-3919-6001
FAX番号 : 03-3919-6681

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 有機過酸化物、引火性液体

GHS 分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分3
有機過酸化物 タイプB
金属腐食性物質 区分1

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分4
急性毒性（経皮） : 区分外
急性毒性（吸入） : 区分2
皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 区分外
発がん性 : 区分外
生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） : 区分1
区分2
区分3
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） : 区分1
区分2

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 : 区分3
水生環境有害性・慢性 : 区分外

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気
熱すると火災や爆発のおそれ
金属腐食のおそれ
飲み込むと有害
吸入すると生命に危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児へ悪影響のおそれの疑い

製品安全データシート

整理番号：F00011
 作成日：1993年1月26日
 改訂日：2010年8月19日

注意書き
 予防策

臓器（呼吸器系、中枢神経系）の障害
 臓器（腎臓）の障害のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ、眠気又はめまいのおそれ
 長期又は反復暴露による臓器（中枢神経系、末梢神経系）の障害
 長期又は反復暴露による臓器（肝臓、腎臓）の障害のおそれ
 水生生物に有害

対応

- ： 容器を密閉しておくこと。
- 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
- 保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- 容器および受器を接地すること。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／温度監視機器を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 火花を発生しない工具を使用すること。
- 促進剤／重金属類／酸／アルカリ／アミン類／酸化還元物質の混入、接触を避けること。
- 他の容器に移し替えないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 呼吸用保護具を着用すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 環境への放出を避けること。

保管

- ： 火災の場合：消火に粉末／泡／炭酸ガスを使用すること。
- 物的被害を防止するため流出したものを吸収すること。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 気分が悪い時：医師の診断／手当てを受けること。

廃棄

- ： 他の物質から離して保管すること。
- 30℃以下の温度の冷所に保管すること。
- 日光から遮断すること。
- 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- 施錠して保管すること。
- 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- ： 内容物／容器を都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区分 : 混合物
- 化学名 : 略称 MEKPO : メチルエチルケトンパーオキシド
 DMP : ジメチルフタレート
 MEK : メチルエチルケトン
 (MEKPO : 活性酸素量で約10.0%)

成分	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号		含有量
			化審法	安衛法	
MEKPO	省略	1338-23-4	(5)-667	既存	35%～45%
DMP	C ₁₀ H ₁₀ O ₁	131-11-3	(3)-1301	既存	45%～55%

製品安全データシート

整理番号：F00011
 作成日：1993年1月26日
 改訂日：2010年8月19日

3/7

MEK	C ₄ H ₈ O	78-93-3	(2)-542	既存	5%未満
過酸化水素	H ₂ O ₂	7722-84-1	(1)-419	既存	1%未満
他					残り

危険有害成分 : MEKPO

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させる。咳や呼吸困難の症状がある場合は保温して直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水と洗剤で洗い落とし、異常があれば医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り取り除いて洗浄する。直ちに多量の流水で15分以上洗眼した後、医師の治療を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 意識がある場合は、直ちに口をすすいだ後コップ1～2杯の水もしくは牛乳を飲ませ、早急に医師の治療を受ける。無理に吐き出させない。
 意識がない場合は、まず呼吸しているかどうかを調べ、頭を後ろにそらして気道を確保し、体を左側を下になるように横向きに寝かせ、直ちに医師の治療を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者が有害物質に触れないよう手袋等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤／二酸化炭素／泡消火器／水噴霧／強化液消火剤／ハロゲン化物等
- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素や分解生成物を含む有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 初期火災の場合は、粉末消火器や泡消火器等を用いて消火後、放水し冷却する。
 本格火災の場合は、水噴霧／泡消火器／強化液消火器等で空気を遮断し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具を着用する。
 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。
 本格火災の場合は、爆発の危険性があるので絶対に近寄らず、安全な距離を保つ。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具（手袋／保護眼鏡／防毒マスク等）を着用する。関係者以外を安全な場所に退避させ、風上から作業する。
 漏出した場所の周囲には、ロープを張るなどして、関係者以外の人立ち入りを禁止する。必要に応じて換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接川や下水に流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合はウェス等で拭き取り、多量の場合は鋸屑／珪藻土／乾燥砂等に充分吸着させた後、適切な廃棄処理を行う。大量流出の場合は土砂等で流出防止をはかり、回収する。但し、可燃物に吸着させた物を一時保管する場合は水蓄処理をする。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 静電気を帯び易いのでアースを取る等の静電気対策をする。
 取り扱い機器は防爆構造のものを使用する。
 密閉容器中で取り扱う場合は安全弁や破裂板等のガス抜き装置及び温度監視装置を取り付ける。
 本品の分解を避ける為、使用する機器や設備の材質はステンレス

製品安全データシート

整理番号：F00011
 作成日：1993年1月26日
 改訂日：2010年8月19日 4/7

	： /ガラスライニング/硝子/ポリエチレン等を用い、鉄/銅合金/鉛/ゴム等は避ける。
局所排気・全体換気	： 取り扱う場合は局所排気または全体換気設備のある場所で取り扱う。
注意事項	： 眼や皮膚に触れないように保護眼鏡と保護手袋を着用する。 吸入を避けるため、有機溶剤用防毒マスクを着用する。
安全取扱い注意事項	： 火気及び高熱発生の恐れのある所では取り扱わない。 アミン類/強酸/強アルカリ/遷移金属化合物/その他還元性物質等の異物との接触を避ける。 一般薬品と混合する場合は、予め少量試験を行い安全を確認する。 分解を避ける為に一度取り出した過酸化物は元の容器に戻さない。 使用済みの容器はすみやかに水洗いし、キャップを緩めて日光の当たらない所に保管する。
保管	
技術的対策	： 防爆型電気機器を使用する。
適切な保管条件	： 室温冷暗所（品質上の観点から30℃以下）で保管する。 保管場所では火気を使用しない。 「先入れ先出し」を厳守する。 他の薬品（特に本品を分解するおそれのあるアミン類/酸/アルカリ/遷移金属化合物/その他還元性物質等）と同じ場所に置かない。また、木/紙/布等も避ける。 転倒/転落防止措置をする。 横置きや逆置きを厳禁する。
安全な容器・包装材料	： 本品の分解を避ける為、使用する材質はステンレス/ガラスライニング/硝子/ポリエチレン等を用い、鉄/銅合金/鉛/ゴム等は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
管理濃度	： 厚生労働省告示第369号（平成16年10月1日） [MEK] 200ppm
許容濃度	： 2009年度版
日本産業衛生学会	： [MEK] 200ppm
TWA	： [DMP] 5mg/m ³ [過酸化水素] 1ppm [MEK] 200ppm
STEL	： [MEK] 300ppm [MEKPO] 0.2ppm (Ceiling)
保護具	
呼吸器の保護具	： 必要により有機溶剤用防毒マスク
手の保護具	： 不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
目の保護具	： 側板付き保護眼鏡またはゴーグル
皮膚及び身体の保護具	： 長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	： 透明液体
色	： 無色
臭い	： 特異臭
pH	： 測定不能
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点、初留点と沸騰範囲	： 測定不可（分解するため）

製品安全データシート

整理番号: F00011
作成日: 1993年1月26日
改訂日: 2010年8月19日

5/7

分解温度	:	データなし
引火点	:	50.0℃ (セタ密閉式)
発火点	:	197℃ (ASTM E659)
燃焼又は爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重	:	1.146 (20℃)
溶解性		
水に対する溶解性	:	不溶
溶媒への溶解性	:	易溶 低級ケトン/エーテル/アルコール/DMP 不溶 グリセリン/石油
オクタノール/水分配係数	:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	:	熱に対して不安定 (SADT = 65℃)
危険有害反応可能性	:	アミン類/酸/アルカリ/遷移金属化合物/その他還元性物質等との接触により分解が促進される。
避けるべき条件	:	直射日光を避ける。 火気及び高熱発生の恐れのある所では取り扱わない。
混触危険物質	:	鉄/銅合金/鉛/ゴム等は避ける。
危険有害な分解生成物	:	データなし
その他		
自己反応性	:	消防式圧力容器試験の破裂確率は、 1mm = 10/10, 9mm = 1/10

11. 有害性情報

急性毒性	:	特に記載しない場合は60%DMP希釈品のデータ [経口] (ラット:雄) LD ₅₀ 1168mg/kg ¹⁾ [本製品] (ヒト) TD ₁₀ 480mg/kg ²⁾ [濃度不明品] (ラット) LD ₅₀ 500mg/kg超 5000mg/kg未満 ³⁾ (マウス) LD ₅₀ 470mg/kg ⁴⁾ (ヒト) 2オンス飲み込んだ所、喉/食道/胃の火傷及び 嘔吐/胃痛/意識混迷/食道狭窄をもたらした ⁵⁾ [吸入] (マウス) LC ₅₀ 170ppm/4hrs ⁶⁾ (ラット) 200mg/L/4hrsで毒性なし ³⁾ [腹腔内] (マウス) LD ₅₀ 200mg/kg ⁷⁾ (ラット) LD ₅₀ 65mg/kg ⁶⁾ (マウス) LD ₁₀₀ 350mg/kg ⁵⁾
局所効果 (皮膚、目等)		
皮膚腐食性	:	(ラビット) 皮膚腐食性あり ¹⁾ [本製品]
皮膚刺激性	:	(ラビット) 皮膚刺激性を示さない最高濃度: 1.5% ⁶⁾ 皮膚に中程度の刺激性あり ³⁾
眼に対する重篤な損傷/刺激性	:	(ラビット) 眼刺激性を示さない最高濃度: 0.6% ⁶⁾ 眼に非常に刺激的で且腐食性 ³⁾
発がん性	:	NTP/IARC/OSHAに記載無し ⁸⁾ [本製品]
生殖細胞変異原性	:	[Ames試験] 陰性 ⁹⁾

12. 環境影響情報

その他	:	データなし
-----	---	-------

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : アフターバーナーとスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。その場合、同量以上の高沸点溶剤が混ざったような不活性溶剤で希釈するか、あるいは珪藻土やバーミキュライト等に吸着させた後、焼却する。なお、焼却する場合は他の廃棄物との混在をできるだけ避ける。特にモノマーや過酸化物の分解を促進するような物質等と混合すると反応して危険なので絶対に混合しない。または許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
樹脂と共に硬化させ産業廃棄物として処理する。
- 汚染容器・包装 : 空の汚染容器や包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規や法令を厳守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

- 国内法規制
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
- 国連分類(クラス、名称) : 5. 2 有機過酸化物
- 国連番号 : 3101 (有機過酸化物 タイプB 液体)
- 輸送の特定の安全対策及び条件
- : 漏洩防止のため、転倒や転落防止措置をする。
容器の上部を上にし、横置きや逆置きは絶対にしない。
危険物第4類に属しても、本品の分解を促進する恐れのある物と混載輸送しない。
積み卸しの際は火気厳禁とする。
日光の直射を受けないようにする。
高温にならないようにする。

15. 適用法令

- 国内適用法
- 化審法 : 該当せず
- 消防法 : 第5類第2種自己反応性物質 (指定数量: 100kg)
- 労働安全衛生法 : 危険物
- 表示対象物質 政令番号 第36の3号 メチルエチルケトン
- 通知対象物質 政令番号 第71号 エチルメチルケトンペルオキシド
- 通知対象物質 政令番号 第126号 過酸化水素
- 通知対象物質 政令番号 第480号 フタル酸ジメチル
- 通知対象物質 政令番号 第570号 メチルエチルケトン
- 船舶安全法 : 酸化性物質類 有機過酸化物
- 航空法 : 有機過酸化物 (航空輸送が禁止されている危険物)
- 化学物質管理促進法 : 該当せず
- 物質登録情報
- TSCA : 登録有り
- EINECS(ELINCS) : 215-661-2 (MEKPO)

16. その他の情報

引用文献

- 社内データ
- National Clearinghouse for Poison Control Centers, Bulletin., Jan/F
- Report of International Research and Development Corporation, Mattawan, Michigan. IRDC 328-004
- J. Am. Med. Assoc., 165, 201, 57
- Malten, K. E.: Ned Tiyodschi Geneeskd. 101, 1319-25, 1957

製品安全データシート

整理番号：F00011
作成日：1993年1月26日
改訂日：2010年8月19日

7/7

-
- 6) Floyd, E. P. and H. E. Stokinger: Amer. Ind. Hyg. Assoc. J., 19, 205, 58
 - 7) Hygiene and Sanitation 29, 103 (January 1964)
 - 8) 日本化学物質安全, 情報センター編集 平成7年2月発行
「米国OSHA 危険有害性の周知基準—規則と危険有害性化学物質リスト(第5版)」
 - 9) Report of Central Institute voor Voedingsonderzoek TNO (CIVO), Zeist, Holland

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険性／有害性に関しては、いかなる保証値をなすものではありません。
また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途／用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
